

卒業論文・修士論文・博士論文題目一覧

〈卒業論文〉

小嶋由佳子 天明期甲州道中における中馬稼ぎ―天明五年中馬口

銭一件を中心に―

佐野 健介 東條英機の再検討―内閣晩年の内在的理解

立石 了 十七世紀萩藩における藩政運営と加判衆

手嶋 亜希 都市事業と公園―明治期大阪市の公園を例に―

中濱 達弥 日米交渉期の国内治安問題の分析

成瀬 明 外交官佐分利貞男の研究―駐中国公使時代を中心

に―

堀 林太郎 昭和戦前・戦中期の思想司法とプロレタリア作家の

「転向」

真栄平 研 明治五年大蔵省の琉球藩調査の実態

相曾 陽一 中世の先例意識と「古文書」

秋葉 真彦 氏族制の統合原理

新川 清晟 敦賀発電所に向けた期待とその結果―日本原子力発

電株式会社、敦賀市の行政、敦賀市民、敦賀半島

の人々、それぞれの立場からの考察―

荒木 舜平 戦国期九条家領日根庄における年貢収取

上杉 憲 一五世紀中後期の対馬と筑前博多

落合 剛 国民義勇戦闘隊を考える―義勇戦闘隊に至る沖縄の

小谷 智輝

明治後期の労災扶助をめぐる官民の動向―「労働者
保険法草案」の中絶と日本傷害保険株式会社の登
場を中心に―

後藤 史彦

大内領国における室町期の荘園について―筑前地域
の検討とあわせて―

古田 一史

律令官僚制における文官と武官―考選制度と武官に
おける「仕奉」と「君恩」の関係から―

堀 昌輝

本願寺と加賀国の交通依頼
出版懇話会に関する一考察

初木 泰久

沖縄返還時の米国民間航空権益の取扱いについて
―外務省と運輸省航空局による日本側意向形成を
中心に―

安田 光穂

中心に―

横山 浩貴

近世後期伊豆諸島の産物と幕府代官―製糖業と伊豆
国附島々産物会所を中心に―

吉田満利恵

大正二年司法部大改革に見る明治末・大正前期の司
法観

増田 由貴

一九三四年赤十字国際会議東京開催をめぐる日本赤
十字社と政府

〈修士論文〉

林 奈緒子

京職による京中統治の実態と展開

青木 太一

明治初年東京における救貧施設の形成と展開

海上 貴彦

撰閑家の成立・展開と朝廷政治

崎島 達矢

府藩県三治制下の「府」と太政官政府の関係―大阪府を対象に―

鈴木 裕英

律令軍団制の特質と展開

福田 真人

幕末維新期の貨幣経済―貨幣による「外庄」と政策的対応―

福元 啓介

近世後期における鹿児島藩の財政構造とその展開

アン・ジェイク

日米交渉と資源問題―日米諒解案の作成過程を中心として―

土居 嗣和

奈良時代における律令制大臣の展開

佐藤 大悟

戊辰戦争後の越後長岡藩―諸藩の連携と藩論―

〈博士論文〉

（授与年月日が二〇一五年四月以降二〇一六年三月までのもの、審査委員名を付記した）

甲（課程博士）

岡本 真

戦国期遣明船研究

千葉 拓真

近世中後期における加賀藩前田家と朝幕藩関係

高橋典幸（主査）・牧原成征・島田竜登・末柄豊・村井章介

吉田伸之

開国期幕府の西洋軍事技術導入過程―長崎「海軍」

金 蓮玉

立本 紘之

昭和初期左翼運動における権威性確立過程の研究

野島（加藤）陽子（主査）・鈴木淳・牧原成征・酒井哲哉・外村大

伝習の再検討を中心に―

鈴木淳（主査）・野島（加藤）陽子・保谷徹・横山伊徳・藤田覚

野島（加藤）陽子（主査）・鈴木淳・牧原成征・酒井哲哉・外村大

野島（加藤）陽子（主査）・鈴木淳・牧原成征・酒井哲哉・外村大

野島（加藤）陽子（主査）・鈴木淳・牧原成征・酒井哲哉・外村大

野島（加藤）陽子（主査）・鈴木淳・牧原成征・酒井哲哉・外村大